



JET ふるさとビジョンプロジェクト

(一財)自治体国際化協会JETプログラム事業部

JET 経験者の思いを活かすために

これまで、任期を終えた JET プログラム参加者 (JET 経験者) は、それぞれのキャリア目標を達成するために、そのほとんどが任用先を離れている状況ですが、JET 経験者の大半が日本を離れてからも、JET 経験者の会 (JETAA) 等を通して日本を支援するさまざまな活動に取り組んでいます。

しかし、任用されていた自治体の関係者等との交流が途絶えてしまっているケースがほとんどであったため、自治体側としても、その有益なネットワークを地域活性化のために活用することが出来ていませんでした。

そこで、任用されていた自治体や地域の方々への強い思いを心に秘めた有望な JET 経験者を掘り起こし、それぞれの現在のキャリアや自治体の特色を活かして、地域活性化につながる企画を提案・実施してもらう事業「JET ふるさとビジョンプロジェクト」が誕生しました。

本プロジェクトは当協会が懸け橋となり、JET 経験者による地域活性化を支援する事業ですが、事業を成功させるためには自治体の協力が必要となります。

それぞれのビジョンを募集

JETAA を通じてプロジェクトを募集したところ、世界各国の JET 経験者からの応募があり、そのいずれもが素晴らしいもので、ふるさとへの熱い思いがひしひしと伝わってくる内容のプロジェクトばかりでした。

そういった中から選りすぐりのプロジェクトを採用し、これまでに、2017 年に 8 件、2018 年に 8 件の合計 16 件のプロジェクトを実施しました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により実施を見合わせているため、2018 年に実施した事例を 3 件紹介させていただきます。

結城紬を世界へ

結城紬とは、国の重要無形文化財に指定されており、最古の歴史を有する高級絹織物です。

約 20 年前に栃木県おやま小山市の外国語指導助手 (ALT) であったファラー・カリームさん (イギリス) は、小山市での在職中に結城紬のことを知り、その素晴らしさに感銘を受けたことから、ヨーロッパへの普及を目指すプ



2018 年度募集チラシ



おやま広報大使委嘱式での様子 (右: 小山市長 (当時)、結城紬着)



プロジェクトを提案しました。

彼女は、製造業者、卸業者、技術支援施設を訪問し、自身のプロジェクトを説明するとともに、博物館等も訪れて結城紬の歴史をさらに深く認知しました。

また、自治体の協力もあって、小山市長と意見交換をすることもでき、広報大使にも任命されました。

帰国後も、小山市の誇るべき文化である結城紬をヨーロッパへ展開するために、日々尽力しています。

読書を通じて国際感覚を

福島県川俣町のALTであったミシェル・スペザカテナさん（アメリカ）は幼いころから読書が大好きで、JETプログラム終了後はアメリカの国立議会図書館に勤務されています。自身の大好きな読書を通じて、お世話になった川俣町に恩返しするために、川俣町の中学校2校に英語の本を寄贈するとともに、英語の本のコーナーを設置しました。

また、東日本大震災により被害を受けた川俣町を心配していた彼女は、復興の状況を視察したり、当時の生徒たちとも積極的に交流を行ったりしました。

今後も、定期的に新しい本を両校に寄贈し、児童・生徒の英語学習や異文化理解に協力するとともに、川俣町の国際化の懸け橋となるように交流を続けていきます。



生徒に英語の本を寄贈するミシェルさん

人気スポーツを活用した交流

愛知県豊根村のALTであったジェフリー・マックチャールズさん（カナダ）は、現在マサチューセッツ工科大学のスポーツマネジメントを専攻しており、今回の

プロジェクトでは、スポーツを通じた国際化を企画しました。

彼は、2018年に行われた冬季オリンピックで日本女子が銅メダルを獲得したことで話題になっていたカーリングにスポットをあて、愛知県民にその魅力を紹介することで交流を行いました。

具体的には、カナダの企業が開発した氷のないところでもカーリングを行うことが出来る器具（フロアカーリング）を使用し、名古屋市での無料カーリング体験を実施したり、愛知県カーリング協会とカーリングの普及についての意見交換を行ったりしました。また、フロアカーリングを活用した学校等での活用方法の例示やPR等も行いました。

今後は、自治体や日本カーリング協会等と協力し、カーリングイベント等を開催することで、国際交流の機会を拡大していきます。



名古屋で親子にカーリングを紹介するジェフリーさん

プロジェクトの実現に向けて

上記で紹介したように、お世話になった自治体等への感謝の気持ちや、当該自治体の特色を活かした国際交流に係るプロジェクトを心に秘めているJET経験者は、世界中にたくさんいます。

プロジェクトの実現に向けて、当協会も精一杯サポートをさせていただきますが、より有意義なものとするためには当該自治体の皆様のご協力が必要不可欠です。

もし、以前所属していたJET経験者のプロジェクトが採用となったときは、関係者一丸となってプロジェクトを成功させましょう！